

舟入探究日誌 第3号 (6月6日)

～2年生～

こんにちは！探究委員会2年のMです。

普通科の2年生は今年の10月にある修学旅行に向け、各班で探究の旅づくりをおこなっています。

今年は、北海道の道央、道北、東北の宮城、福島の4つのコースの中から1つを選んで参加することができ、それぞれ3泊4日の日程になっています。

例えば、私が参加する道央コースでは、ニセコの文化を体験することができる「ウポポイ（民族共生象徴空間）」を訪れたり、ニセコ市内や札幌市内で班別自主研修を行うなど、とても魅力的な修学旅行を楽しむことができます。

ところで、探究の旅づくりってなに？と疑問に思いませんか？

なんと今年の修学旅行は、「探究の旅」を目的とした行程が組まれており、各班で旅の「テーマ」を決め、テーマに関する、その地で活躍している方に自らアポを取り、お話をさせていただく貴重な学習の機会が設けられています。

修「学」旅行にふさわしい、友人と楽しく学んで探究できる旅行にできるように引き続き計画を立てていきます。

それではまた次回の探究日誌で！た～んQ！！

～3年生～

こんにちは。探究委員会3年のNです。

この時期、3年生はABLE Time(舟入高校での総合的な探究の時間)にて論文を作成している真っ最中です。ちなみに僕は料理や味覚系に興味があるのでその類の論文を作成しています。

先日、僕の論文のテーマの参考になる文献を探すべく図書室に行ったところ、よくある料理系雑誌が置いてあったので興味本意で読んでみました。

すると、その雑誌に載っている料理のレシピ1つ1つに「融合」や「ひと工夫」が込められていることに気づき、思わず見入ってしまいました。(例を挙げると、物価高のために肉を多く使えないのでじゃがいもでかさ増しする、さらにボリュームにするためにじゃがいもを千切りにするといったものでした。)

しかも、その雑誌にはレシピが数十個載っており、さらに雑誌自体 2 週間ペースで発行されています。僕からすると料理は「典型的なもの」に限られているように思われますが、「創作料理」というのは無限の可能性を秘めているのではないのでしょうか。これは「探究」と何か繋がりがあ
るのでしょ。。

たまには学生の皆さんは図書館を勉強場所と思っているかもしれませんが、図書館で「本を読む」
のもいいですね。